

本時のねらい

・国際交流会に向け、資料を用いたプレゼ発表を通して、資料の内容や発表方法を改善する。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・グループで共有したスライドデータを共同編集することで、効率的な編集作業をし、資料の流れやデザインの統一に気をつけながら資料を作成する。
- ・Canvaのホワイトボードを活用し、クラウド上で完成した原稿をグループで確認したり、実際のリハーサルに対してコメントをしたりすることで、他者とコミュニケーションを取りながら推敲を重ねる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Google クラウド スライド ・Google スライド ・Canva

本時で育む主な情報活用能力

D-STEP 4, E-STEP 4

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで作成した資料の確認・発表の流れについて班で確認し発表の準備をする。 ・本時の流れやめあてを確認する。 【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の流れをモニターに表示する。また同じスライド資料をGoogle クラウド スライドで共有しておき、生徒がいつでも確認できるようにする。
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ・各班の発表。 【写真2】 ・原稿や発表の仕方を振り返り、資料を完成させる。 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ○各班の発表の仕方や原稿を見て、良かったところ・改善した方が良かったところをCanvaの付箋機能で共有し、自身の発表に活かす。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・発表に向けた準備の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を何度も推敲し改善することや、発表の練習を繰り返すことで、より良いプレゼンテーションができることを伝える。また、各グループで当日までに準備することも伝えておく。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】めあてを確認しながら、自分の班のスライドを確認しているようす



【写真2】各班の発表のようす



【写真3】発表を聞きながら、気づいたことをCanvaに入力しているようす

児童生徒の反応や変容

この授業の後、子どもたちは、この授業で出たさまざまな意見をもとにして、授業時間外などで、自発的にスライドの改善、発表の工夫を考えている姿がありました。本番の発表を聞いた先生からは、「リハーサルで聞いていたけど、本番は全く新しい発表を聞いたみたい」という感想が出ました。子どもたちの自律的な学習者のサイクルが見られる実践となりました。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

スライドを共同編集させることで、少ない時間でも、効率的かつ質の高い活動にすることを意識しました。また、班のメンバーの進捗状況も確認できるので、声掛けや助け合いをする場面が生まれやすく、コミュニケーションが取りやすい環境を整えられると考えています。